

博士課程の概要

基本理念

本学博士課程は、以下に掲げる人材の養成を基本理念とします。

- (1) 高度な研究能力を有する政策研究の研究者
- (2) 高度の実務的専門知識と学問的体系に沿った政策分析能力を有する実務家

教育目標

本学博士課程は、国際的スタンダードを満たす教育を通じて、

- (1) 高度な政策研究能力
- (2) 政策研究に必要な複数分野のディシプリン
- (3) 社会科学諸分野における論文作成能力

を向上させます。

博士論文は、以下の基準を満たすものでなければなりません。

- (1) Policy-relevancy ないし policy implication を有するものであること。
- (2) それぞれの学術分野の研究動向や先行研究を踏まえ、かつ、オリジナリティーを示すものであること。
- (3) 特定政策に関する優れた分析に立脚するものであるか、鮮明な問題意識に立脚したレトロスペクテ

ィブな歴史的研究ないしはケーススタディーとして深い洞察を含むものであること。

上記基準を満たすためには、以下のいずれかを満たすことを必要要件とします。

- (1) 研究成果の一部が査読制を有する学術誌に掲載されたか、又は掲載が採択されていること。
- (2) 研究成果がすでに商業出版（出版助成等による出版を含む）されたか、あるいは予定されていること。
- (3) 上記(1)、(2)に相当すると認められる水準にあること。

設置プログラムの概要

本学博士課程には、GRIPS Global Governance Program (G-cube)、Policy Analysis、公共政策、安全保障・国際問題、科学技術イノベーション政策、防災学、政策プロフェッショナルの7つのプログラムが設置されています。各プログラムの詳細については表1を参照してください。

博士課程の修了要件

履修指導

履修指導は、各学生が博士論文を完成させるために必要な科目全てを履修、修得することを目的として、それぞれの専門能力に応じて個別的、重点的に行います。授業形式、指導方式は以下のとおりです。

- (1) 本学博士課程において提供される授業は、講義、演習、ゼミ形式等で行う。また、国際会議等における論文発表のための論文作成と発表演習、共同研究による論文作成と発表演習などを通じて行う場合もある。
- (2) 政策研究者を志向する者に対する指導は、概ね、各種ディシプリンに基づく学術的成果の発表、政策分析研究の成果発表等を目的として進められる。
- (3) 行政官キャリアを志向する者に対する指導は、概ね、特定政策に関する深い洞察力・歴史的検証に立脚したケーススタディーやレトロスペクティブスタディーを実施し、外部に対して発表することを目的として進める。

研究指導

本学博士課程における研究指導は、当該学生の研究課題と専門的能力、研究遂行能力に応じて、複数の指導教員によって構成される指導教員委員会(Advisory Committee)を通じて行います。指導教員委員会の構成は主指導教員1名、副指導教員1名以上3名以内とします。指導教員委員会は、当該学生の研究計画、これまでの科目履修状況等に応じて授業科目の履修についても指導します。授業科目の履修にあたっては、政策研究遂行上必要となる複数のディシプリン(主専攻・副専攻)を修得するものとします。

カリキュラム

プログラム別履修概要は表2に示すとおりです。博士論文提出資格試験(Qualifying Examination/以下QE)実施概要は表3に示すとおりです。

修了要件

本学博士課程においては、すべての学生は(1)履修要件を満たし、(2)QEに合格した上で、(3)論文の最終審査に合格することが要求されます(博士論文

審査の標準的な実施時期については表4参照)。履修要件、QE、博士論文発表会、博士論文審査委員会の概要は以下のとおりです。

- (1)原則として1年次終了前後に、表2に掲げたプログラム別履修概要の必要単位数を取得済みまたは取得が見込まれる場合、QEに臨むことができる。
- (2)QEは筆記試験と口述試験で構成される(Policy Analysisプログラムでは、Basic QEとField QEが課される。詳細については表3参照。)筆記試験は主指導教員による1科目、副指導教員または、主指導及び副指導教員により認定された指導教員以外の教員による2科目(政策プロフェッショナルプログラムで博士(政策研究)の学位を希望する場合は1科目)を任意の形式(in-class, take-home, open-note(book), closed-note(book))で行い、すべての科目で100点満点中60点以上を合格とする。口述試験では学生による研究計画案をもとに質疑応答を行う。原則3名以上の審査委員全員の討議によって合否を決定する。筆記試験、口述試験に不合格の場合、それぞれ2度目まで受験可能とする。筆記試験と口述試験の両試験に合格した場合に、QE合格とする。
- (3)すべての博士課程学生は博士論文発表会において、研究成果を発表し、その正当性、妥当性、学術的貢献度を公表、立証しなければならない。通常45分の口頭発表の後、45分の質疑応答を行う。博士課程学生は、査読用論文を博士論文発表会の4週間前までに教育支援課プログラム運営担当に論文全文データを提出する。プログラム運営担当は学生からの提出物一式を博士論文審査委員会に提出する。

博士論文審査委員会

博士論文審査委員会は、指導教員委員会メンバー(主指導及び副指導教員)に加えて、外部審査委員1名、博士課程委員会委員長代理が加わり、合計4名または5名とします。審査は、発表会での質疑応答の状況を踏まえ、審査委員全員が評価基準5~1の5段階のいずれかの評価を行い、評価の中央値が5となったものを合格とし、中央値が1となった場合に不合格とします。評価の中央値が5か1になるまで審査、評価、修正のプロセスを続けます。博士

4. 博士課程

課程学生は、博士論文審査委員会の最終確認を受けた後、論文最終稿 1 部及び全文データ最終稿を博士課程委員会及び研究教育評議会の 2 週間前までにプ

ログラム運営担当に提出します。博士課程委員会及び研究教育評議会にて修了判定承認を受け、学位記が授与されます。

表1 博士課程プログラムの構成

前後期 区分	プログラム	受入 学生	フィールド (研究分野)	学位名	担当 ディレクター
5年 前期 ・ 後期 一貫 ／ 3年 後期	プログラム Policy Analysis 経済学の方法論を使い、日本および世界の 政策課題を理論的、実証的に研究・分析で きる者を育成する	日本人 留学生	経済	Ph.D. in Public Economics : 博士 (公共経済学) Ph.D. in Development Economics : 博士 (開発経済学) Ph.D. in International Economics : 博士 (国際経済学) Master of Arts in Public Economics : 修士 (公共経済学) Master of Arts in Development Economics : 修士 (開発経済学) Master of Arts in International Economics : 修士 (国際経済学)	Munro
3年 後期	GRIPS Global Governance Program (G-cube) 歴史や深い教養に裏打ちされた大局観と、 長期的で幅広い視野に立つ的確な判断力 と、新しい世界秩序形成に参画する意思と 能力を併せ持つ国家・国際機関・産業界等 の将来のトップリーダーを養成する	日本人 留学生	政治、経済、 地域研究、 歴史	Ph.D. in Advanced Policy Studies : 博士 (政策研究)	高橋
			総合	Ph.D. in Public Policy : 博士 (公共政策分析)	
			政治	Ph.D. in Government : 博士 (政治・政策研究)	
			経済	Ph.D. in Public Policy : 博士 (公共政策分析)	
			数理分析	Ph.D. in Social Systems Analysis : 博士 (社会システム分析)	増山
			開発政策	Ph.D. in Development Economics : 博士 (開発経済学)	
			国際開発	Ph.D. in Cultural Policy : 博士 (文化政策研究)	
			文化政策	Ph.D. in Public Policy : 博士 (公共政策分析)	
			科学技術政策	Ph.D. in Public Policy : 博士 (公共政策分析)	

4. 博士課程

	<p>安全保障・国際問題 (Security and International Studies) 安全保障・外交政策について高度な戦略性と専門性を併せ持った人材を養成する</p>	日本人留学生	安全保障・国際問題	Ph.D. in International Relations : 博士 (国際関係論)	道下
	<p>科学技術イノベーション政策 (Science, Technology and Innovation Policy) 科学的なアプローチを用い、科学技術イノベーション政策の企画・立案、遂行、評価、修正を行うことができる人材を育成する</p>	日本人留学生	科学技術イノベーション政策	Doctor of Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in Public Policy : 博士 (公共政策分析)	角南
	<p>防災学 (Disaster Management) 水災害リスクマネジメント分野において国際的及び国際的な戦略・政策の企画・実践を指導し、研究者を育成できる人材を養成する</p>	日本人留学生	防災学	Ph.D. in Disaster Management : 博士 (防災学)	家田
	<p>政策プロフェSSIONナル (Policy Professionals) 事例研究の蓄積を通じて、政策の現場と学術の本質的な交流を促進し、高度な実務的専門知識と政策分析能力を有する実務家を養成する</p>	日本人	事例研究	Doctor of Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in Government : 博士 (政治・政策研究)	飯尾

表2 プログラム別履修概要

プログラム	フィールド (研究分野)	初年度 (QE 以前)	2 年目以降
GRIPS Global Governance Program (G-cube)	政治、経済、地域研究、歴史	カリキュラムに基づき 20 単位以上を履修し、研究計画を作成して QE を受験する。	エグゼクティブ・セミナー、G-cube ワークショップを含めて必要単位を履修しつつ博士論文作成に努める。
Policy Analysis	経済	Basic QE 以前に、必修科目 6 科目 (12 単位) を履修する。Basic QE 合格後、更に 3 科目の Advanced コースを受講する。	必要に応じて経済系理論科目を履修し、Field QE に合格後、博士論文作成に努める。
公共政策 (Public Policy)	総合	政治系理論科目、経済系理論科目、計量系基礎理論科目のいずれかから 8 単位以上を履修する。	必要に応じて政治系理論科目、経済系理論科目、計量系応用理論科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
	政治	政治系理論科目の中から 8 単位以上を履修する。	必要に応じて政治系理論科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
	経済	経済系理論科目の中から 8 単位以上を履修する。	必要に応じて経済系理論科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
	数理分析 開発政策	計量系理論科目の中から 8 単位以上を履修する。 開発系科目、経済系理論科目、計量系理論科目の中から 8 単位以上履修する。	必要に応じて計量系応用理論科目、演習科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
	国際開発	経済系理論科目の中から 8 単位以上を履修する。	必要に応じて経済系理論科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
安全保障・国際問題 (Security and International Studies)	文化政策	文化政策系理論科目の中から 8 単位以上を履修する。	必要に応じて文化政策系理論科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
	科学技術政策	政治系理論科目、経済系理論科目、計量系基礎理論科目のいずれかから 8 単位以上を履修する。 理論科目、地域科目、政策科目を中心に 14 単位以上を履修する。	必要に応じて文化政策系理論科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
安全保障・国際問題 (Security and International Studies)	安全保障・国際問題	理論科目、地域科目、政策科目を中心に 14 単位以上を履修する。	QE 終了後は、必要に応じてフィールドワークを行い、論文指導セミナーに出席しながら博士論文作成に努める。
科学技術イノベーション政策 (Science, Technology and Innovation Policy)	科学技術イノベーション政策	カリキュラムに基づき 17 単位以上を履修するとともに、論文作成の骨格を準備する。	QE 終了後は、必要に応じて研究に必要な方法論などの知識を深め、論文指導セミナーに出席しながら博士論文作成に努める。
防災学 (Disaster Management)	防災学	防災学に関する科目の中から 8 単位以上を履修する。	必要に応じて防災学に関する科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
政策プロフェSSIONナル (Policy Professionals)	事例研究	政策プロフェSSIONナルカリキュラムに基づいて 10 単位以上 (これ以上を課す場合もある) を履修するとともに、論文作成の骨格を準備する。	必要に応じて履修しつつ博士論文作成に努める。 に基づいて履修しつつ博士論文作成に努める。

表 3 博士論文提出資格試験 (QE) 実施概要

本学博士課程学生は、必要な科目を履修し、原則として1年次終了前後に必要な単位数を取得済みまたは取得が見込まれる場合、QEに臨むことができる。

QEは筆記試験と口述試験で構成される。Policy Analysis プログラムについては、Basic QE と Field QE で構成される。

プログラム	筆記試験／Basic QE		口述試験／Field QE	
	試験者／科目	実施方法	試験者	実施方法
Policy Analysis	Basic QE は以下の3科目： Microeconomics, Macroeconomics Econometrics 以下の科目を履修後、 Basic QE の受験が可能： Advanced Microeconomics, Advanced Macroeconomics Advanced Econometrics (それぞれのコースの I, II, を履修)	1日に1科目、 in-class, closed-book で筆記試験を行う	主指導教員及び副 指導教員 (原則3 名以上)	学生の研究結果の初稿を口頭発 表し、続いて質疑応答を行う。 Field QE の受験資格： (a)Basic QE (全3科目) に合格 していること (b)Graduate Seminar I を履修済み であること (c)主指導により承認されている こと
GRIPS Global Governance (G-cube) Program 公共政策 安全保障・国際問題 科学技術イノベーション 政策 防災学	主指導教員より1科目 副指導教員または主・ 副指導教員が適当と認 定した教員による2科 目	in-class / take-home のいずれか open / closed-book のいずれかを選択 し、筆記試験を行 う		学生の研究計画案をもとに口頭 発表を行い、質疑応答を行う
政策プロフェッショナル	主指導教員が決定した1科目について筆記試験を行う			

表 4 博士論文審査の標準的な実施時期

	修了時期			
	3月	6月	9月	12月
博士論文審査委員の決定 (→実施体制承認・博士課程委員会)	10月第3または第4水曜日	1月第3または第4水曜日	4月第3または第4水曜日	7月第3または第4水曜日
論文提出(→査読・審査実施の公表)	11月	2月	5月	8月
博士論文発表会・審査会	12月	3月	6月	9月
最終稿提出期限	下記博士課程委員会の2週間前			
審査結果の承認(博士課程委員会)	3月第3水曜日	6月第3または第4水曜日	9月第1または第3水曜日	12月第1または第2水曜日
審査結果の承認(研究教育評議会)・修了日	同上	同上またはその直近	同上	同上またはその直近
学位記の授与	3月学位記授与式	9月学位記授与式*	9月学位記授与式	3月学位記授与式*

*上記は評価が4だった場合のスケジュールで評価が低かった場合はこれよりも時間を要する。

*博士課程委員会及び研究教育評議会は8月には実施していない。

*実施時期は、年度により変更することがある。

博士課程プログラム

GRIPS Global Governance Program (G-cube) (3年制)

本プログラムは、新しい世界秩序、地域秩序の形成に参画する意思と能力を持ち、国家、国際機関、産業界などで指導的な役割を果たしうるトップリーダー(Leader of Leaders)の養成を目的としています。そのために、長期的かつ複眼的で幅広い視野からの確かな判断をする能力と、歴史や教養に裏打ちされた大局観を培うよう、さまざまな工夫を凝らしたカリキュラムを提供します。

まず、本プログラムでは、経済学、政治学、歴史を必修として、それぞれの分野の考え方の基本と主要な分析手法を学びます。また、国家的な危機の対処に携わった人物、グローバルビジネスを展開する産業界のリーダー、世界共通の政策課題に取り組む国際機関のリーダーなどの体験談を聞き、その後の討論を通じて、大局観を身に付け使えるように訓練します。さらに、チュートリアル中心の徹底した少人数教育を通じて、複数のトピックについて専門的な知見を学びつつ、博士論文研究のテーマや指導教員を選択する機会を提供します。学生が研究を発表する機会を数多く設けます。博士論文提出資格試験(QE)や博士論文の審査は他のプログラムと同様に厳格に行います。講義、チュートリアル、論文指導、試験等はすべて英語で行います。

本プログラムは、ミッドキャリアの行政官のほか、さまざまな分野でグローバルな活躍を目指す方々を対象としています。条件次第で経済的支援も可能です。

Policy Analysis Program(5年制・3年制)

(1) 目的

本プログラムでは、経済学の方法論を使い、日本および世界の政策課題を理論的、実証的に研究・分析できる者を育成します。

(2) プログラムの特色

① 学生は通常 10 月に入学し、標準修業年限は 5 年です。修士は 2 年で取得可能であり、既に経済学の修士を取得した上で本プログラムに入学する人は、最短 3 年で博士の学位を取得することも可

能です。

② アドバンストレベルのミクロ経済学、マクロ経済学、及び計量経済学を履修し、博士論文提出資格試験(Qualifying Examination/以下 QE)に合格することによって、博士論文執筆に進むことができます。Policy Analysis Program については、Basic QE 及び Field QE が課されます。

③ 経済学の方法論の習得を必須とし、経済学の各論、および、政策分析の関連科目を履修することで、様々な政策課題に対応できる力を養います。

④ 政策分析に必要な経済学の方法論を習得することと並行して、講義・演習・研究会等の中で実際の政策立案や分析を行っている担当者や OB らと日常的に接することを通じて、問題意識の醸成とその解決策について考察する機会を提供します。

⑤ 入学者に対して必ずしも経済学に関する学位や予備知識を要求しませんが、経済学に関する知識と理解の程度に応じて、必修科目を履修する前にそれよりも基礎的な科目の履修を求めたり、あるいは、必修科目の一部の履修を免除するなど、学生の能力に応じた教育を行います。

⑥ 日本人だけでなく、外国人の学生も多く在籍するため、また博士号取得後直ちに国際的に通用する人材を輩出するため、すべての講義は英語で行われます。

(3) 専門分野(取得可能な学位の種類)

プログラムにおいて以下の専門分野を設定し、それぞれにおいて MA 及び Ph. D. の学位を授与します。

Public Economics

Development Economics

International Economics

公共政策プログラム(3年制)

国際的スタンダードを満たす教育方式に基づく、高度の政策研究能力と企画能力、政策研究遂行上必要となるディシプリンの習得、社会科学諸分野における論文作成能力、高等教育での教授能力、外国語能力の確保を目指した教育を実施します。

このように、Ph.D.に該当する博士の学位を求めている学生は、特定のディシプリンを身につけている

ことが前提となるので、修士プログラムからの進学を原則としつつ、他大学において修士の学位を取得した学生については、その習得分野、学位の種類などに応じて、博士課程からの入学を認めています。そのため、入学時に身につけている学問的能力に応じて、履修を求める単位数が異なります。そして、在学中に学問的能力を確認する博士論文提出資格試験などの学内試験に合格の後、博士論文の執筆・提出が認められます。

学生は、講義やゼミに限らず、本学政策研究プロジェクトセンターで進行中の研究プロジェクトに参加したり、連携する政策系研究機関との共同研究に参加しながら、博士論文を執筆したりすることも可能であり、より実践的な研究活動に携わる機会を確保しています。

安全保障・国際問題プログラム(3年制)

21世紀に入り、グローバル化の進展とともに安全保障や国際関係の概念も従来の定義を越えて拡大し、安全保障・外交政策の課題として考えるべき範囲も拡大しつつあります。また、アジアにおいてもパワーバランスの劇的な変化や情勢の複雑化などに伴い、政治、経済、法律、社会、文化等を踏まえつつ、より戦略的に安全保障・外交上の政策課題に取り組むことが求められています。

本プログラムは、こうした問題意識の下、防衛省、外務省と連携しつつ、学問と実践、理論と政策の両方に精通し、専門性と戦略性を併せ持った安全保障・外交問題の専門家・実務家を養成することを目的としています。

本プログラムでは、国内外の政界、官界、学界などから広く学生を受け入れます。募集対象は、社会科学分野、特に国際関係、政治学、法学、経済学などの分野の修士号取得者となります。

本プログラムの卒業生は、各国政府、研究機関、国際組織などにおいて指導的な立場に立ち、安全保障・外交問題の専門家として活躍することが期待されています。

科学技術イノベーション政策プログラム(3年制)

新産業の創出のみならず、雇用の確保、生活の質の向上、環境問題などの様々な経済的、社会的問題の解決のために、科学技術イノベーションに対する期待は大きく、それを促進する政策に対する期待もまた大きなものがあります。このような

観点から、現在、各国の政府は効果的な科学技術イノベーション政策の立案、デザインをもとめて、知恵を絞っています。

こうした背景のもと、本プログラムでは、エビデンスベースのアプローチを用い、科学技術イノベーション政策の企画・立案、遂行、評価、修正を行うことができる人材の育成を目指します。特に、このような人材に求められる高度な政策研究能力と企画力、そのために必要となる複数のディシプリンの修得、社会科学諸分野における分析能力、高等教育での教授能力、高度の外国語能力を身につけた、行政官、実務者、研究者等を養成することを目指しています。

教授陣には、国内外の優れた科学技術イノベーション政策研究の専門家を揃え、さらにより実践的な研究教育を行うため、科学技術イノベーション政策を専門とし、第一線で活躍する実務家を講師として迎えています。また、優れた研究者や実務家を招いた研究会、講演会も開催します。

本プログラムは、原則として、すでに修士の学位を持つ政策に関わる実務家もしくは当該分野における研究・教育職の志望者を受け入れます。学位は、行政官等の実務家向け学位(Doctor)又は研究者向け学位(Ph.D.)の2種類を用意し、志望者の希望や特性に応じた論文執筆指導を行います。

防災学プログラム(3年制)

近年、都市化や工業化の進展、気候変動などにより、水災害は世界中で増加・深刻化しており、激甚な被害が経済発展を著しく阻害しています。こうした災害に対する抵抗力を構築し持続的な開発を行うには、水災害リスクマネジメントの研究者や教育者、戦略・政策立案者の養成が求められています。政策研究大学院大学(GRIPS)と土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)は、国及び国際的な戦略・政策の企画・実践を指導し、研究者を育成することができる人材を養成することを目的とします。

本プログラムでは、すでに修士の学位を取得した者、もしくは同等の能力を有し、大学あるいは研究機関等での研究経験や水災害リスクマネジメント分野での実務経験を有する学生を受け入れます。本プログラムは英語で行われ、標準修業年限は3年です。

本プログラムには、東京大学との単位相互認定

4. 博士課程

交換制度があります。また、ICHARM のリサーチ・アシスタント (ICHARM RA) として採用される可能性もあり、その場合には、ICHARM の研究補助業務に従事しながら、博士課程を修了することができます。これは、研究を行いながら ICHARM での実務を学び経験できる非常に良い機会になります。

政策プロフェッショナルプログラム(3年制)

高度な実務的専門知識と政策分析能力を有する実務家を養成するという本学建学の理念に沿って、すでに政策に関わる職務経験を十分に積み、基礎的な政策分析能力をも備えた実務家などを対象に、事例研究を軸とした博士論文の執筆を主たる内容とする博士課程のプログラムが政策プロフェッショナルプログラムです。なお、本プログラムでは、プログラムの性格から、原則として Ph.D.とは違う学位である博士(政策研究) = Doctor of Policy Studies を授与していますが、入学前の修学経験や履修条件などを考慮して、場合によって、博士(政治・政策研究) = Ph.D. in Government を授与することがあります。

教育課程は、原則として入学後 1 年間で集中的に必要な講義・演習を履修するとともに、演習を通じて論文の骨格を作成し、2 年目以降は、職場に戻って実務をこなしつつ、論文の完成を目指して研究を続け、入学後 3 年間で博士の学位を取得することを標準として設計されています(軽減された職務につきながら履修する場合、最初の集中的履修期間を 2 年にすることもできます)。

本プログラムは、それぞれがすでに持っている問題意識と経験を最大限に生かし、それに本学における学問分野のトレーニングを効率的に組み合

わせることで、優れた事例研究を世に問うとともに、それを通じて高度な実務家としての能力に磨きを掛けることを目指しています。そのため、カリキュラムは、必要な学問分野における分析能力を身につける科目とともに、視野を広げるための科目や論文の書き方などの研究技術に関わる科目などを集中的に履修する仕組みとなっています。学問分野としては、政治・行政学を基盤としながら、経済学や国際関係論、法学、工学などさまざまな分野を総合的に応用することとします。

本プログラムは、原則として、すでに修士の学位を持つ政策に関わる実務家で、博士レベルの事例研究を遂行するに足る実務経験、あるいは研究能力を備えた者で、官公庁や報道機関、NPO などに在籍し、10 年以上の経験を有している者を対象とします。ただし、修士の学位を持たない場合や、経験年数が満たない場合にも、適性に応じて審査の上で入学を認める場合があります。

本プログラムには、4 月、8 月、10 月に入学が可能ですが、4 月の入学を奨励し、転任などの都合で修学時期を確保するために必要なときなどに限って 8 月または 10 月の入学を認めています。入学時期のほか、出願者の入学前の準備状況・研究テーマによって、能力にかかわらず入学がかなわない場合もありますので、受験希望者は、アドミッションズオフィスを通じて、早めにプログラム・ディレクターに事前相談を行うことをお勧めします。

Academic Year 2020-2025 Curriculum
(1)-1 GRIPS Global Governance Program (G-cube) (Five Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Master's	Ph.D.
I Required Courses	GEN5010E	Introduction to Public Policy Studies	HORIE Masahiro	Fall	1	10	6
	GEN5020E	The World and the SDGs	TANAKA Akihiko	Fall	1		
	GGG2580E	Leading a Nation in the Changing World	TBA	Winter	2		
	GGG5000E	Perspectives of the World	YOKOMICHI Kiyotaka	Fall, Spring	2		
	GGG5010EA	Policy Debate Seminar I	TAKAHASHI Kazushi	Fall through Winter	2		
	GGG5020EA	Policy Debate Seminar II	TAKAHASHI Kazushi	Fall/Winter/Spring/Summer	2		
	GGG6040E	Policy Workshop	KIJIMA Yoko, TAKAGI Yusuke	Fall/Winter/Spring/Summer	6		
II Recommended Courses	ECO1900E	Global Economic History	TBA	TBA	2	30	42 (Including Master's credits)
	GOV1460E	The Making of Modern Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2		
	GOV2320E	Comparative State Formation	TBA	TBA	2		
	ECO3840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Winter	2		
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2		
	GOV2200EB	International Relations	YAMAMOTO Yoshinobu	Fall	2		
	GOV2580E	Structure and Process of Government	HORIE Masahiro	Spring	2		
	GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veeravooth	Fall	2		
	STI2080E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2		
	GGG5110E	* Tutorial I	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2		
	GGG5120E	* Tutorial II	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2		
	GGG5130E	* Tutorial III	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2		
	GGG5140E	* Tutorial IV	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2		
	GGG5150E	* Tutorial V	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2		
	GGG6010E	Executive Seminar I	TAKAHASHI Kazushi	Winter/Spring	2		
	GGG6020E	Executive Seminar II	TAKAHASHI Kazushi	Winter/Spring	2		
GGG6030E	Executive Seminar III	TAKAHASHI Kazushi	Winter/Spring	2			
III Elective Courses	ECO1000EB	Microeconomics I	WIE Dainn	Fall (Session I)	2	6	2
	ECO1020E	Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4		
	ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2		
	ECO1080E	Essential Macroeconomics	NAKAGAKI Yoko	Winter	2		
	ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	TBA	Fall	2		
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2		
	GOV2210E	International Political Economy	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2		
	GOV2240EA	International Security Studies	TOKUCHI Hideshi	Fall	2		
	GOV3110E	Political Economy of Modern Japan	TBA	TBA	2		
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2		
	GOV7461E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)	TBA	TBA	2		
	MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	TSUCHIYA Takashi	Fall	2		
		** Selected Topics in Policy Studies I - IV					
		Courses not listed in this table (with the program director's approval)					
X Others		*** Courses offered by the Center for Professional Communication					

Notes:

- For a Master's degree, students must complete a minimum of 30 credits.
 - 10 of the 30 credits must be taken from Category I.
 - 16 of the 30 credits must be taken from Category II, of which:
 - 4 credits must be from ECO1900E, GOV1460E, or GOV2320E and 6 credits must be from ECO3840EA, ECO6090E, GOV2200EB, GOV2580E, GOV3310E, or STI 2080E.
 - * The other 6 credits must be obtained by completing 3 tutorial courses, including 2 courses in a major policy-issue cluster.
 - The remaining 4 should come from Category II or III.
- For a Ph.D. degree, students must pass the Qualifying Exam (QE) and complete at least 42 credits including the 30 credits taken to meet the requirement for the Master's degree as specified above.
 - With the program director's approval, students can take QE when they are expected to meet the requirements for the Master's degree.
 - After passing QE, students must complete GGG6040E and one of the Executive Seminars (GGG6010E, GGG6020E, and GGG6030E).
- ** Course Number, instructor, and term for these courses will be announced when the course is offered.
- *** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
- Courses offered in the Program are subject to change.

4. 博士課程

Academic Year 2020-2023 Curriculum
(1)-2 GRIPS Global Governance Program (G-cube) (Three Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.	
I Required Courses	GGG5010EA	Policy Debate Seminar I	TAKAHASHI Kazushi	Fall through Winter	2	6	
	GGG6010E	Executive Seminar I	TAKAHASHI Kazushi	Winter/Spring	2		
	GGG6050E	G-cube Workshop	KIJIMA Yoko, TAKAGI Yusuke	Fall/Winter/Spring/Summer	2		
II Recommended Courses	ECO3890E	Development Econometrics	KIJIMA Yoko	Winter	2	8	
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2		
	GOV6300E	State and Governance	TAKAGI Yusuke	Spring	2		
	GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2		
	GOV7461E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)	TBA	TBA	2		
		Recommended courses by concentration (see the auxiliary table)				2	6
						2	
						2	
		GGG5110E	* Tutorial I	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	4
		GGG5120E	* Tutorial II	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
	GGG5130E	* Tutorial III	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2		
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with the advisory committee's approval)				26	
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication					

Notes:

- Students are required to complete a minimum of 26 credits. Of these credits, 6 credits must come from Category I and 18 credits from Category II. The remaining 2 credits may be taken from Category II or III.
- Students are required to pass the qualifying exam (QE) consisting of three written exams and an oral exam.
- To take the QE, students are required to complete Policy Debate Seminar I (GGG5010EA) and 18 credits from Category II including 4 credits of GGG5110E and GGG5120E.
- Students can take Executive Seminar I (GGG6010E), G-cube Workshop (GGG6050E) and Tutorial III(GGG5130E) for credit only after passing the QE.
- * Tutorials are small-sized classes with two to five students. Tutorials count toward the degree only if they satisfy the rules specified by the G-cube Tutorial Guideline.
- Having satisfied these requirements, students can take 2 credits from Category II (including Tutorials and courses listed in the Auxiliary Table) to satisfy the requirement of a total of 26 credits, even though they can alternatively take 2 credits from Category III for the same purpose.
- ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
- Courses offered in the Program are subject to change.

[AuxiliaryTable]

Academic Year 2020-2023 Curriculum (1)-2 GRIPS Global Governance Program (G-cube) (Three Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
II Recommended Courses	GOV7241E	Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	6
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
Growth and Governance Studies Concentration	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6901E	Advanced Comparative Development Studies of Asia	KAWANO Motoko	Spring	2	
	ECO3810E	Economic Development of Japan	OHNO Kenichi	Spring	2	
	ECO7821E	Advanced Gender and Development	ESTUDILLO Jonna P.	Spring (Session I)	2	
	ECO7881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Spring	2	
	International Development Studies Concentration	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	
		ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2
		ECO6810E	Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2
ECO6820E		Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
ECO7861E		Advanced Poverty Alleviation	ESTUDILLO Jonna P.	Spring (Session II)	2	
GEN8001E		International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	
Notes:						
1. Students in the GGS Concentration need to earn at least 6 credits from the first 10 courses listed in the above table while students in the IDS concentration need 6 credits from the last 11 courses above.						
2. Courses offered in the Program are subject to change.						

4. 博士課程

**Academic Year 2020-2025 Curriculum
(2)-1 Policy Analysis (Five Year Ph.D. Course)**

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Master's	Ph.D.
I Required Courses	ECO6000E	Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	16	8
	ECO6010E	Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2		
	ECO6050E	Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2		
	ECO6060E	Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2		
	ECO6700E	Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2		
	ECO6710E	Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2		
	ECO7010E	Graduate Seminar I	LITSCHIG Stephan, WIE Dainn	Spring/Fall	4		
	ECO7020E	* Graduate Seminar II	LITSCHIG Stephan, WIE Dainn	Spring/Fall	4		
	ECO7030E	* Graduate Seminar III	LITSCHIG Stephan, WIE Dainn	Spring/Fall	4		
II Recommended Courses	ECO6020E	Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2	30	38 (Including master's credits)
	ECO6030E	Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2		
	ECO6070E	Advanced Macroeconomics III	HAYASHI Fumio	Winter	2		
	ECO6080E	Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2		
	ECO6720E	Advanced Econometrics III	TBA	Winter	2		
	ECO6730E	Advanced Econometrics IV	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2		
III Elective courses	ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2	6	
	ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2		
	ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session II)	2		
	ECO7040E	* Graduate Seminar IV	LITSCHIG Stephan, WIE Dainn	Spring/Fall	4		
	ECO7050E	* Graduate Seminar V	LITSCHIG Stephan, WIE Dainn	Spring/Fall	4		
		Courses not listed in this table (with program director's approval).					
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication					
Notes:							
<p>1. Course requirements: For a Master's degree, students must complete a minimum of 30 credits, 16 of which must come from Category I . For the Ph.D. degree, students must complete a minimum of 38 credits in total. Students must complete a minimum of 24credits from Category I and 6 credits from Category II.</p> <p>2. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree.</p> <p>3. The courses marked with * can be registered only by those who passed Basic QE.</p> <p>4. A students who has passed the Basic QE is required to attend the Policy Analysis Workshop and make at least two presentations prior to submitting the PhD dissertation.</p> <p>5. Students are required to submit a policy paper as a requirement for the Master's degree. In the PA program, this is done in Graduate Seminar I.</p> <p>6. Students who do not have any sufficient backgrounds in intermediate level microeconomics, macroeconomics, and econometrics should take Microeconomics I, II, Macroeconomics I, II, and Introduction to Applied Econometrics.</p> <p>7. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.</p> <p>8. The degree title shall be 'PhD in International Economics', 'PhD in Development Economics' or 'PhD in Public Economics' determined according to the electives taken by the student, the content of the dissertation and the advice of the Program Director.</p> <p>9. Courses offered in the Program are subject to change.</p>							

Academic Year 2020-2023 Curriculum
(2)-2 Policy Analysis (Three Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
I Required Courses	ECO6000E	* Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	24
	ECO6010E	* Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2	
	ECO6050E	* Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2	
	ECO6060E	* Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2	
	ECO6700E	* Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2	
	ECO6710E	* Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2	
	ECO7010E	Graduate Seminar I	LITSCHIG Stephan, WIE Dainn	Spring/Fall	4	
	ECO7020E	** Graduate Seminar II	LITSCHIG Stephan, WIE Dainn	Spring/Fall	4	
	ECO7030E	** Graduate Seminar III	LITSCHIG Stephan, WIE Dainn	Spring/Fall	4	
II Recommended Courses	ECO6020E	* Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2	6
	ECO6030E	* Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2	
	ECO6070E	* Advanced Macroeconomics III	HAYASHI Fumio	Winter	2	
	ECO6080E	* Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
	ECO6720E	* Advanced Econometrics III	TBA	Winter	2	
	ECO6730E	* Advanced Econometrics IV	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2	
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with program director's approval).				
X Others		*** Courses offered by the Center for Professional Communication				
Notes:						
<p>1. This table applies to those who commenced from a GRIPS master's program with a Master's degree (internal students hereafter), and to those with equivalent ability to internal students.</p> <p>2. Course requirements: For the Ph.D. degree, students must complete a minimum of 34 credits, 24 of which must come from Category I and 6 from Category II.</p> <p>3. Internal Students may claim up to 10 credits to be transferred to the courses marked with *. With the permission of the Program Director, students who have taken all the required 6 Advanced courses as GRIPS Masters students may substitute one other ECO course.</p> <p>4. The courses marked with ** can be registered only by those who passed Basic QE.</p> <p>5. A students who has passed the Basic QE is required to attend the Policy Analysis Workshop and make at least two presentations prior to submitting the PhD dissertation.</p> <p>6. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree.</p> <p>7. *** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.</p> <p>8. The degree title shall be 'PhD in International Economics', 'PhD in Development Economics' or 'PhD in Public Economics' determined according to the electives taken by the student, the content of the dissertation and the advice of the Program Director.</p> <p>9. Courses offered in the Program are subject to change.</p>						

4. 博士課程

Academic Year 2020-2023 Curriculum
 (3) Public Policy (General, Politics, Economics, Social Systems Analysis, Development Policy, International Development, Cultural Policy)

Category	Course No.	Course Title	Instructor	Term	Credit	
II Electives	GOV6100J	政策過程論特別演習 (Special Seminar for Policy Process)	IIO Jun	Spring	2	
	GOV6110J	日本政治研究特別演習 (Special Seminar for Japanese Politics)	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV6210E	International Political Economy Workshop	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
	GOV6220E	Strategic Studies Research Seminar	MICHISHITA Narushige	Spring	2	
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6420J	日本外交 (Japan's Foreign Policy)	TBA	TBA	2	
	GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	
	GOV6910J	事例研究方法論 (Scope and Methods of Case Studies)	IIO Jun	Summer/Winter	2	
	GOV6920J	社会科学方法論=質的分析 (Social Science Methodology for Qualitative Analysis)	IIO Jun	Fall	2	
	GOV6930J	社会科学方法論=量的分析 (Social Science Methodology for Quantitative Analysis)	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	
	GOV7000J	安全保障・国際問題論文演習 (Security and International Studies Dissertation Seminar)	TBA	TBA	2	
	GOV7201EA	Advanced International Relations	IWAMA Yoko	Spring	2	
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7271E	Advanced American Foreign Policy	TBA	TBA	2	
	GOV8111E	Advanced Political Economy of Modern Japan	TBA	TBA	2	
	GOV8221E	Politics of Global Money and Finance (Advanced)	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	GOV8631E	Advanced Development Cooperation Policy	TBA	TBA	2	
		Courses not listed in this table, admitted by each student's advisory committee.				
	Economic Theory	ECO6000E	Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2
		ECO6010E	Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2
		ECO6020E	Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2
		ECO6030E	Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2
		ECO6050E	Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2
		ECO6060E	Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2
		ECO6070E	Advanced Macroeconomics III	HAYASHI Fumio	Winter	2
		ECO6080E	Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2
		ECO6700E	Advanced Econometrics I	LITSCHEG Stephan	Fall (Session I)	2
		ECO6710E	Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2
		ECO6720E	Advanced Econometrics III	TBA	Winter	2
		ECO6730E	Advanced Econometrics IV	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2
ECO6810E		Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
		Courses not listed in this table, admitted by each student's advisory committee.				
Quantitative Analysis		MOR6000E/J	Statistical Data Analysis / 統計データ解析	TBA	TBA	2
	MOR6100E/J	Applied Statistics / 応用統計	TBA	TBA	2	
	MOR6200E/J	Mathematics for Planning / 計画数理	TBA	TBA	2	
	MOR6300E/J	Mathematical Modeling Analysis / 数理モデル分析	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, OYAMA Tatsuo	Spring	2	
	MOR6400E	Operations Research	TBA	TBA	2	
	MOR6500E/J	Optimization and Simulation / 最適化とシミュレーション	TBA	TBA	2	
	MOR7010E/J	Seminar on Statistical Data Analysis / 統計データ解析演習	TBA	TBA	2	
	MOR7020E/J	Seminar on Mathematical Modeling / 数理モデル演習	TBA	TBA	2	
	MOR7030E/J	Seminar on Policy Simulation / 政策シミュレーション演習	TBA	TBA	2	
		Courses not listed in this table, admitted by each student's advisory committee.				
Development Policy	DEV6000E	Sociological Research	TBA	TBA	2	
	DEV7000E	Special Seminar for Sociology	TBA	TBA	2	
	DEV7041J	国土政策と社会資本整備特論 (Advanced Topics in National Development Policy and Infrastructure Investment)	MORICHI Shigeru	Fall	2	
	DEV7061J	インフラストラクチャーのデザイン特論 (Advanced Design of Infrastructure)	TBA	TBA	2	
	DEV7101E	Advanced Transportation Planning and Policy	HIBINO Naohiko	Spring	2	
	DEV7501E	Advanced Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past	IEDA Hitoshi	Spring	2	
	DMP7011E	Advanced Disaster Management Policies B: from Urban and Community Aspect	SUGAHARA Masaru	Fall	2	
		Courses not listed in this table, admitted by each student's advisory committee.				
Cultural Policy	CUL6010E/J	Advanced Topics in Cultural Capital and Policy Issues / 文化資源特論	KAKIUCHI Emiko	Fall	2	
	CUL6020E/J	Advanced Topics in Arts Policy / 芸術政策特論	KAKIUCHI Emiko	Winter	2	
	CUL6030E/J	Advanced Topics in Cultural Policy / 文化政策特論	TBA	TBA	2	
	CUL6040E/J	Cultural Policy Research Seminar I / 文化政策リサーチセミナー I	TBA	TBA	2	
	CUL6050E/J	Cultural Policy Research Seminar II / 文化政策リサーチセミナー II	TBA	TBA	2	
	CUL6060E/J	Cultural Policy Research Seminar III / 文化政策リサーチセミナー III	TBA	TBA	2	
	CUL6070E/J	Heritage Policy System in Japan	KAKIUCHI Emiko	Fall	2	
	CUL6080E/J	International System of Preserving Cultural Heritage	TBA	TBA	2	
	CUL6090E/J	Heritage Policy System in Europe	TBA	TBA	2	
	CUL6100E/J	Heritage for Development	KAKIUCHI Emiko	Winter	2	
CUL6110J	図書館政策特論	TBA	TBA	2		
	Courses not listed in this table, admitted by each student's advisory committee.					
X Others		* Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes

- Course requirements for taking the Qualifying Examination (QE) are as follows:
 General: 8 credits or more from the politics, economic theory, and quantitative analysis categories.
 Politics: 8 credits or more from the politics category.
 Economics and international development: 8 credits or more from the economic theory category.
 Social systems analysis: 8 credits or more from the quantitative analysis category.
 Development Policy: 8 credits or more from the development policy, economic theory, and quantitative analysis categories.
 International Development: 8 credits or more from the economic theory category.
 Cultural Policy: 8 credits or more from the cultural policy category.
- In the event that a student enrolls in both the English and Japanese versions of theoretical courses in the same field (courses with identical content), he or she will only receive credit points for one of them.
- Students may take courses not listed on the above table with the approval of the advisory committee.
- * Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
- Courses offered in the Program are subject to change.

Academic Year 2020-2023 Curriculum

(4) Security and International Studies

Category	Elective or Core	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	
I Theoretical courses	Elective	GOV6210E	International Political Economy Workshop	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	12
		GOV6220E	Strategic Studies Research Seminar	MICHISHITA Narushige	Spring	2	
		GOV7201EA	** Advanced International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2	
		GOV7201EB	** Advanced International Relations	YAMAMOTO Yoshinobu	Fall	2	
		GOV7241E	* Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
		GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
		GOV8221E	Politics of Global Money and Finance (Advanced)	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
II Regional courses	Elective	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
		GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	
		GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
		GOV7251E	Advanced Chinese Foreign Policy	TBA	TBA	2	
		GOV7271E	Advanced American Foreign Policy	TBA	TBA	2	
		GOV8111E	Advanced Political Economy of Modern Japan	TBA	TBA	2	
		GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
III Policy courses	Elective	GOV7291E	Debates on International Security Issues(Advanced)	TBA	TBA	2	
		GOV8241E	Non-Traditional Security (Advanced)	TBA	TBA	2	
		GOV8631E	Advanced Development Cooperation Policy	TBA	TBA	2	
IV General Subjects	Elective	Courses not listed in this table, admitted by the Advisory Committee.					
V Paper Writing	Core	GOV7000E	Security and International Studies Dissertation Seminar	MICHISHITA Narushige, et al.	Spring	2	2
X Others			*** Courses offered by the Center for Professional Communication				
Notes							
1. Course requirements for taking the Qualifying Examination (QE) are as follows: a) Category I - Category IV 12 credits or more b) Category V Pass							
2. In the event that a student enrolls in both the English and Japanese versions of theoretical courses in the same field (courses with identical content), he or she will only receive credit points for one of them.							
3. Students may take courses not listed on the above table with the approval of the Advisory Committee.							
4. * Those who have taken "GOV2240E International Security Studies" at the Master's level are not allowed to take this course for credit.							
5. **Those who have taken "GOV2200EA or EB International Relations" at the Master's level cannot take "Advanced International Relations" with the same instructor.							
6. *** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.							
7. Courses offered in the Program are subject to change.							

4. 博士課程

Academic Year 2019-2022 Curriculum

(5) Disaster Management

Category	Course No.	Course Title	Instructor	Term	Credit	
III Electives	DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	INOUE Satoshi	Fall	2	8
	DMP2800E	Hydrology	MIYAMOTO Mamoru, KOIKE Toshio	Fall through Winter	2	
	DMP2810E	Hydraulics	HARADA Daisuke, EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2	
	DMP7001E	Advanced Disaster Management Policies A: from Regional and Infrastructure Aspect	IEDA Hitoshi	Fall	2	
	DMP7011E	Advanced Disaster Management Policies B: from Urban and Community Aspect	SUGAHARA Masaru	Fall	2	
	DEV7501E	Advanced Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past	IEDA Hitoshi	Spring	2	
	DMP7821E	Advanced Integrated Flood Management	TAKEUCHI Kuniyoshi	Fall through Winter	2	
	DMP7871E	Advanced Urban Flood Management and Flood Hazard Mapping	TANAKA Shigenobu	Fall through Winter	2	
	DMP7901E	Socio-economic and Environmental Aspects of Advanced Sustainability- oriented Flood Management	OHARA Miho, SUMI Tetsuya	Fall through Winter	2	
	DMP8811E	Advanced Flood Hydraulics and River Channel Design	FUKUOKA Shoji	Fall through Winter	2	
	DMP8821E	Advanced Mechanics of Sediment Transportation and River Changes	EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2	
	DMP8830E	Advanced Hydrometeorology	KOIKE Toshio, RASMY Mohamed	Spring	2	
	DMP8840E	Advanced Hydrodynamics	YOROZUYA Atsuhiko	Spring	2	
	DMP8850E	International Policies on Water and Disasters	HIROKI Kenzo	Fall	2	
		Courses not listed in this table (with the program director's approval)				
Notes						
<p>1. Course requirements: For Ph.Ds., students must complete a minimum of 8* credits from category III, pass the Qualifying Examination (QE), and pass the final thesis evaluation. * In addition, if a student is advised to take disaster management courses by supervising committee, he or she will be required to take these for up to 4 credits from category III.</p> <p>2. The written component of the QEs will be conducted for one course given by the supervisor, and two or three courses given by the advisors.</p> <p>3. After starting dissertation work, students are required to report on research that they are planning or working on, at Ph.D. Candidate Seminars.</p> <p>4. Courses offered in the Program are subject to change.</p>						

Academic Year 2020-2023

(6) Science, Technology and Innovation Policy

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Requirement
I Required Courses	STI8011E	Research Seminar I	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	4
	STI8021E	Research Seminar II	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	STI8031E	Research Seminar III	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	STI8041E	Research Seminar IV	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
II Recommended Courses	ECO7721EA	Introduction to Applied Econometrics (Advanced)	TBA	Fall	2	10 20
	ECO7881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Spring	2	
	ECO8841EA	Development Economics (Advanced)	YAMAUCHI Chikako	Winter	2	
	MOR7011E	Quantitative Data Analysis	MOROHOSI Hozumi, TSUCHIYA Takashi, OYAMA Tatsuo	Fall	2	
	DMP8850E	International Policies on Water and Disasters	HIROKI Kenzo	Fall	2	
	STI6001E	Economics of Innovation	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	
	STI6011E	Analysis of Science and Technology Policy Process	SUNAMI Atsushi	Spring	2	
	STI6061J	科学技術イノベーション政策概論	SUZUKI Jun, NEI Hisanori, SUMIKURA Koichi, IIZUKA Michiko, HAYASHI Takayuki, SUNAMI Atsushi, ARIMOTO Tateo, et al.	Spring (Session II)	2	
	STI6071J	公的機関からのイノベーション創出	SUMIKURA Koichi, HAYASHI Takayuki, IIZUKA Michiko, et al.	Spring (Session II)	2	
	STI6081J	科学技術イノベーション政策立案演習	HAYASHI Takayuki, SHICHIJO Naohiro, et al.	Summer	2	
	STI6101J	イノベーションと経済学	SUZUKI Jun	Spring	2	
	STI6111J	科学技術イノベーション政策のためのミクロ経済学	NAGANE Hiromi	Fall(session II)	2	
	STI7031E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2	
	STI7031J	ビブリオメトリクスとその応用	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2	
	STI7061E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	SUMIKURA Koichi	Biyearly Fall	2	
	STI7061J	高等教育・産学連携政策	SUMIKURA Koichi	Biyearly Fall	2	
	STI7071J	科学技術外交論	HIROKI Kenzo, SUNAMI Atsushi	Fall(session II)	2	
	STI7081E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	
	STI7151E	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy	UEYAMA Takahiro	TBA	2	
	STI7151J	科学技術イノベーション政策の史的比較	UEYAMA Takahiro	TBA	2	
	STI7161E	Outline of Energy Policy	NEI Hisanori	Fall(Session I)	2	
	STI7171E	Energy and Environmental Science&Technology	NEI Hisanori, SHIBATA Yoshiaki	Spring	2	
	STI7180E	Advanced Energy Policy	NEI Hisanori, TOYODA Masakazu	Spring (Session II)	2	
	STI7191E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	SUMIKURA Koichi, ESCOFFIER Luca	Spring	2	
	STI7201J	科学技術とアントレプレナーシップ	SUMIKURA Koichi, MAKI Kanetaka	Spring	2	
	STI7211E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	IIZUKA Michiko	Fall	2	
	STI7221J	科学技術イノベーション政策と評価 (Evaluation of Science, Technology and Innovation Policy)	HAYASHI Takayuki	Fall	2	
	STI7231E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	Fall (Session II)	2	
	STI7241E	History of Japanese Science, Technology and Innovation Policy	ARIMOTO Tateo	Fall	2	
	STI7251J	計量分析演習	SUZUKI Jun	Fall (Session I)	2	
	STI7261J	科学技術行政システムと指標	HAYASHI Takayuki, IIZUKA Michiko, IJICHI Tomohiro	Spring (Session I)	2	
	STI7271J	知的財産マネジメント I	SUMIKURA Koichi	Spring	2	
	STI7281J	知的財産マネジメント II	SUMIKURA Koichi	Fall	2	
	STI8051E	Energy Security	NEI Hisanori, KUTANI Ichiro	Spring	2	
STI8061E	Energy Policy in Japan	NEI Hisanori	Spring	2		
STI8101J- STI8131J	科学技術イノベーション政策特論 I - IV	TBA	TBA	各2		
STI8141J	科学技術イノベーション政策特論 V	SUMIKURA Koichi	Summer	1		
STI8151J	科学技術イノベーション政策特論 VI	TBA	TBA	1		
STI8161J	科学技術イノベーション政策特論 VII	UEYAMA Takahiro	Fall (Session I)	1		
STI8171J	科学技術イノベーション政策特論 VIII	TBA	TBA	1		
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with Program director's approval)				
X Others		* Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Course Requirements

Students must fulfill the requirements shown below and pass an oral dissertation defense.

a) Category I: 4 credits

b) Category II: at least 10 credits

Students are expected to take QE after earning at least 1 credit from Category I, at least 10 credits from Category II and 6 credits from Category II & Category III (total 17 credits).

2. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree.

3. * Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

4. Courses offered in the Program are subject to change.

4. 博士課程

Academic Year 2020-2023 Curriculum

(7) Policy Professionals 政策プロフェッショナルプログラム

区分	科目番号	科目名	担当教員	学期	単位	
II 選択必修科目	GOV6100J	政策過程論特別演習 (Special Seminar for Policy Process)	IIO Jun	Spring	2	4
	GOV6910J	事例研究方法論 (Scope and Methods of Case Studies)	IIO Jun	Summer/Winter	2	
	GOV6920J	社会科学方法論＝質的分析 (Social Science Methodology for Qualitative Analysis)	IIO Jun	Fall	2	
	GOV6930J	社会科学方法論＝量的分析 (Social Science Methodology for Quantitative Analysis)	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	
III 選択科目	GOV6110J	日本政治研究特別演習 (Special Seminar for Japanese Politics)	TAKENAKA Harukata	Fall	2	10
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	
	GOV6520J	行政学特別演習 (Special Seminar for Public Administration)	TBA	TBA	2	
	GOV7101J	政策過程論 (Policy Process)	IIO Jun	Spring	2	
	GOV7201EA	Advanced International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2	
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV8111E	Advanced Political Economy of Modern Japan	TBA	TBA	2	
	GOV8221E	Politics of Global Money and Finance (Advanced)	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	MOR7011E	Quantitative Data Analysis	MOROHOSI Hozumi, TSUCHIYA Takashi, OYAMA Tatsuo	Fall	2	
	本学で開講されている科目のうち、政策プロフェッショナルプログラム委員会が定めた科目 (Courses not listed in this table, admitted by the Program Committee.)					
X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				
備考						
1 修了要件 政策事例研究演習 (Seminar for Policy Case Studies)(通年)を受講し、 次の①および②に示す要件を満たし、Qualifying Examination (QE)に合格した上で、最終論文試験に合格すること。 ① 区分 II 4単位以上 ② 区分 II・III 10単位以上 なお、入学の際に、プログラム・コミッティーが、上記単位数以上の履修を要求したときには、それに従うこと。						
2. 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。						
3 授業内容が同様である日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。						
4 区分Xで取得した単位は修了要件に含まない。						

Term	1 (9:00-10:30)			2 (10:40-12:10)			3 (13:20-14:50)			4 (15:00-16:30)			5 (16:40-18:10)			6 (18:20-19:50)			19:30-21:00				
	Course No.	Subjects	Instructor	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room
Mon																							
Tue																							
Summer (Aug. 3- Sep. 23)																							
Thu																							
Fri																							

* Intensive Course : ST16081J 科学技術イノベーション政策立案演習 (Aug. 8-Aug. 10) , Room: L
 : ST16141J 科学技術イノベーション政策特論V (Sep. 17- Sep. 19) , Room: TBA

Term	1 (9:00-10:30)			2 (10:40-12:10)			3 (13:20-14:50)			4 (15:00-16:30)			5 (16:40-18:10)			6 (18:20-19:50)			19:30-21:00				
	Course No.	Subjects	Instructor	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room
Mon																							
Tue																							
Fall (Oct. 7- Feb. 2)																							
Wed																							
Thu																							
Fri																							
Sat																							

博士課程学生への経済的支援

奨学金

■ 日本学生支援機構(JASSO)奨学金

意欲と能力のある学生に「教育を受ける機会」を保障し、自立した学生生活を送れるよう支援するもので、第一種奨学金(無利息)、第二種奨学金(利息付)の2種類があり、どちらの奨学金も貸与終了後、返還の義務が生じます。申込みは大学を通じて行うことになっておりますので、希望される方は、教育支援課総務担当までご相談ください。

詳細は、JASSO ホームページでご確認ください。

<http://www.jasso.go.jp/shougakukin/index.html>

■ その他の奨学金

その他の財団法人等から奨学金の募集があった場合は掲示しますので、ご確認ください。

博士課程授業料免除制度

応募条件

本学博士課程に3年以上在学*し、成績が優秀で、かつ、次のいずれかに該当すること。

- (1) 博士論文を提出し、審査を経たもので、最終合格のための論文修正を行っている学生
- (2) 免除を希望する年の4月または10月から起算して1年以内に博士論文の提出及び学位授与が見込まれる学生
- (3) 病気その他やむを得ない事由により休学していた者が復学し、復学後1年以内に博士論文の提出及び学位授与が見込まれる学生

* 休学期間は含みません。

審査

選考委員会が博士論文の執筆状況、成績、研究成果・業績、その他学生の事情等を基準に審査を行います。

免除期間

原則として1年を上限とします(免除申請期間ならびに論文執筆状況を基準とし、選考委員会が決定します)。

申請方法

年に2回、以下の時期に申請を受け付けます。所定の期日までに、主指導教員の推薦状を添えて「授業料の免除申請書」を教育支援課総務担当に提出してください。期の途中からの免除を希望する場合も、所定の期日までに漏れなく申請してください。

- ・ 前期授業料(4月～9月): 2月
- ・ 後期授業料(10月～翌年3月): 8月

結果の通知

申請期限より1ヶ月前後で、文書にて通知します。

ティーチング・アシスタント/リサーチ・アシスタント

博士課程学生は、教育・研究上有意義で、かつ学業の遂行に悪影響がないとプログラム・ディレクターが判断した場合、ティーチング・アシスタント(TA)又はリサーチ・アシスタント(RA)として、本学で就労することができます。TA及びRAの採用申請は、講義又は研究プロジェクト担当教員が行います。

博士課程学生会発表支援制度

目的

博士課程学生に自らの研究成果を積極的に外部で発表する機会を提供し、研究成果発表の経験を積ませることにより、標準修業年限内での学位取得の促進を図ることを目的としています。

申請資格

次の要件をすべて満たす者。

- (1) 博士課程の標準修業年限内での修了が見込まれる者
- (2) 博士論文提出資格試験(QE)に合格した者(学会発表までにQE合格が見込まれる者も含む)
- (3) 主指導教員が推奨する学会において、自ら研究発表を行う者(ポスターセッション、ペーパーフェア等による発表を除く)
- (4) 主指導教員が学会への参加を承認した者
- (5) 学会開催時点で、博士論文を未提出の者

申請手続

原則として、学会のための旅行開始日の2ヶ月前までに、以下の書類を教育支援課総務担当に提出してください。なお、申請に際しては、主指導教員の承認を要します。申請書等の各種様式は、教育支援課総務担当にメールでご請求ください。

- (1) 学会発表旅費等申請書（様式 1）
- (2) 当該申請に係る学会の開催通知又はプログラム、申請時点で取り寄せることができる学会の概要
- (3) 学会発表採択通知及び詳細プログラム等学生が研究発表を行うことがわかる資料*
- (4) 航空機を利用する場合は、航空賃の見積書又は請求書（金額に航空券代以外のものが含まれている場合は、内訳がわかる資料）
- (5) 外国旅行の場合は、旅行日程がわかる資料（旅行会社等から発行される旅程表等）

* (3) 学会発表採択通知及び詳細プログラムの提出が遅れる場合は、「予備審査」として参加する学会が支援の対象となるかの審査を行います。「予備審査」を行った学会については、書類が整った時点で支援の可否の最終決定のため「本審査」を行いますので、書類が発行され次第早急に提出してください。出発前に当該資料が提出できない場合は、学会発表のための旅行が終了した日の翌日から2週間以内に提出してください。なお、3月に行われる学会発表については、上記書類を全て、出発前に提出してください。

留意事項

- (1) 旅程には私用を含まないこと。
- (2) 公的資金を適正に使用することの重要性を十分に理解すること。
- (3) 学会登録をする際、所属先に本学の名称を入れること。

補助の決定及び内容

(1) 本制度による補助の可否及び支援内容については、申請書類に基づき、奨学金等委員会が決定します。
* 書類の提出が遅れる場合、又は不備書類が提出された場合は、補助の決定が遅れることがありますので、ご了承ください。

必要書類が整わない場合、参加する学会が支援の対象となるかを判断する予備審査を行う場合があります。

(2) 支援内容は、政策研究大学院大学旅費規程（平成18年18規程第7号）に準じて算出した旅費及び学

会参加費（懇親会代、食事代等は補助しない）の全部又は一部とします。

ただし、会計年度毎（4月1日～3月31日）の学生1人あたりの補助総額は25万円を超えないものとし、このうち1回の旅行に対する補助額については、国内旅行5万円、外国旅行20万円を超えないものとし、なお、上限を超える旅費については、学生の負担とします。

(3) 外国旅行及び内国旅行別に支給する旅費は、当該規程に基づき、下表1及び2のとおりとします。ただし、日当及び宿泊料は、現地での2泊3日を上限とします。

(4) 航空賃、鉄道賃、車賃又は船賃及び宿泊料（以下「航空賃等及び宿泊料」という）がセットになった料金（以下「パック料金」という）を利用した旅行の場合で、パック料金の額が当該規程に基づいて計算した航空賃等及び宿泊料に相当する額の総額より低額であるときは、下表にかかわらず、当該パック料金の額を上限として支給します。

(5) 旅行のために必要な保険の費用は、学生の負担とします。海外での医療費は高額になることから、万一の事故や病気に備え、海外旅行保険に加入することを強く勧めます。緊急時対応の為、出発前に保険証明書のコピーを教育支援課総務担当に提出してください。

学会発表後の手続

学会発表のための旅行が終了した日の翌日から2週間以内に、以下の書類を教育支援課総務担当に提出し精算手続を行ってください。なお、報告書については、主指導教員の承認を要します。

- (1) 学会発表報告書（様式 3）
- (2) 確定したスケジュールが記載されているプログラム等及び学会発表内容に関する資料
- (3) 航空機を利用した場合は、航空券の半券又は搭乗を確認できる書類及び航空賃の領収書（金額に航空券代以外のものが含まれている場合は、金額の内訳がわかる資料）
- (4) 外国旅行の場合は、現地での移動にかかった費用に関する領収書
- (5) 指定都市のうち、ロンドン、ニューヨーク、ワシントンの宿泊料が定額を超えた場合の領収書
- (6) 学会参加費を支払った場合は、学会参加費の納付証明書

参加費に懇親会代、食事代、宿泊代等が含まれる

4. 博士課程

場合は、内訳がわかる資料を添付すること。内訳が発行されない場合は日当、宿泊料が減額となります。

(7) 債主データ登録依頼書(様式2)(すでに口座登録をしてある場合を除く)

(8) 旅行雑費(表1下段)を支払った場合は、その領収書

- ・ 旅行に係る領収書については、旅行後1ヶ月以内に提出を求めることがあるので保管しておくこと。
- ・ 領収書の宛名は、申請者本人とすること。

支給方法

学会発表のための旅行終了後、申請者が指定した預金口座へ振り込みます。

注意事項

表1【外国旅行】

旅費の種類	摘要	領収書提出
航空賃	成田国際空港または羽田国際空港から学会開催地の最寄りの国際空港までの、最も経済的な経路かつ安価であるエコノミークラスの航空賃	○
鉄道賃	本学または自宅のうち、成田国際空港または羽田国際空港に近い方から空港までの、最も経済的な通常の経路による往復鉄道賃	×
船賃	旅程に応じた旅客運賃	○
現地での移動にかかる費用	学会開催地最寄りの国際空港から、学会会場までの移動費用(国際空港が学会会場と同一地域内にある場合を除く)	○
日当 (上限3日分)	5,000円/日 指定都市*の場合、6,000円/日	×
宿泊料 (上限2泊分)	15,000円/日 指定都市*の場合、21,000円/日 指定都市のうち、ロンドン、ニューヨーク、ワシントンにおける宿泊料が21,000円を超えた場合、実費額(上限35,000円/日)	△
外国旅行手当	6,000円/回	×
旅行雑費	旅行者の予防注射料、旅券の交付手数料、査証手数料(旅行代理店への代行手数料を含む)、空港使用料、外貨交換手数料並びに入出国税の実費額	○

* 指定都市は以下のとおり。

アジア：シンガポール

北米：ロサンゼルス、ニューヨーク、サンフランシスコ、ワシントン

欧州：ジュネーブ、ロンドン、モスクワ、パリ

中東：アブダビ、ジッダ、クウェート、リヤド

アフリカ：アビジャン

表2【国内旅行】

旅費の種類	摘要	領収書提出
航空賃	最も経済的な通常の経路及び方法により旅行した場合の旅費	○
鉄道賃		×
車賃		△
船賃	旅程に応じた旅客運賃	○
日当 (上限3日分)	2,000円/日*	×
宿泊料 (上限2泊分)	11,000円/日	△

* 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県及び群馬県を目的地とする日帰り旅行については、
日当を支給しない。

問合せ先

教育支援課総務担当

内線: 6061

E-mail: kyouiku@grips.ac.jp